

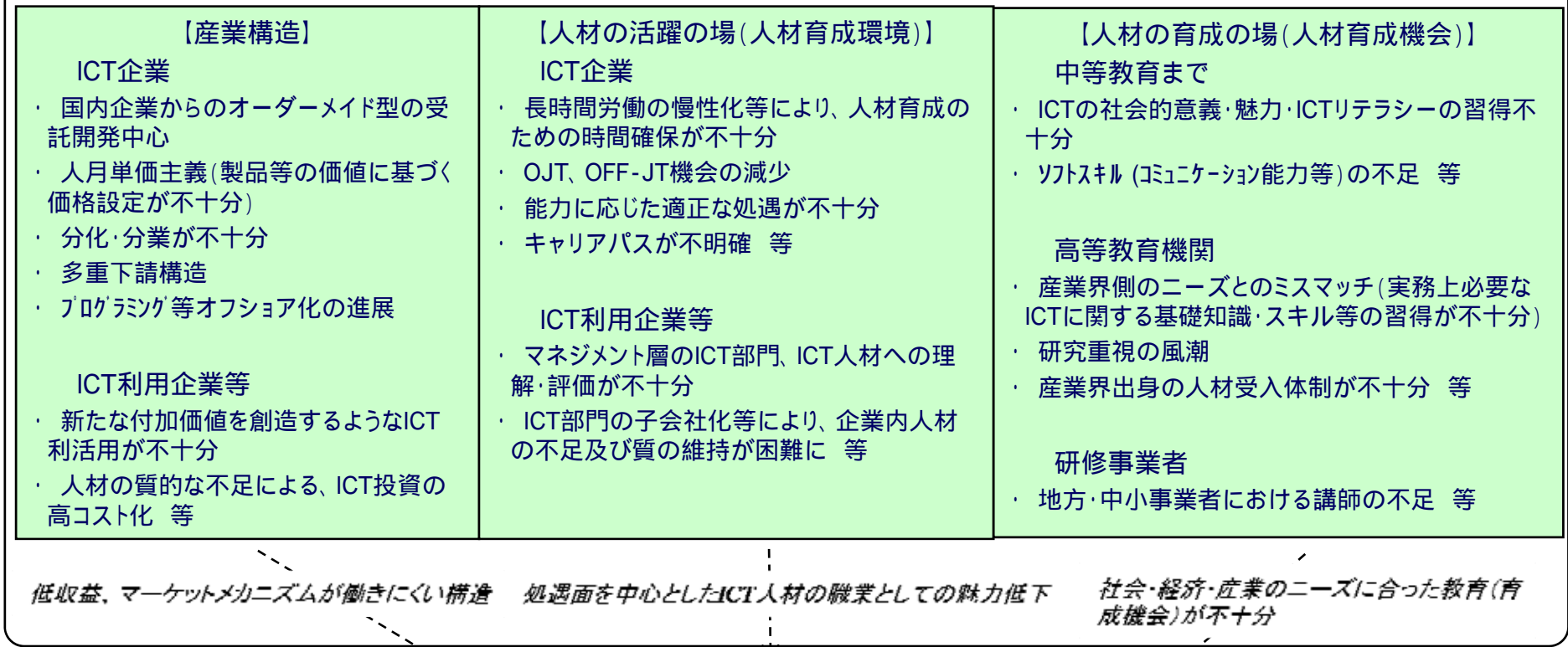
高度ICT人材育成に関する研究会 報告書(案)の概要

平成20年5月29日
総務省情報通信政策局
情報通信利用促進課

(ICTをめぐる環境変化)

ICTの適用領域の拡大、産業・行政・社会の基幹システムでの活用、国家の競争力を支える中核技術へインド、中国、韓国等は、国としてICT人材育成に力を入れることなどにより、我が国を激しく追い上げ、オフショア化の急速な拡大情報システム・ソフトウェアの構造変化(オープン化・モジュール化、SaaSの登場等)

高度ICT人材育成の現状と課題



高度ICT人材の不足(自律的に輩出されず)

我が国のICT分野において、必要な高度ICT人材が自律的に輩出されるようなメカニズムの構築が必要

高度ICT人材育成に向けた取組の基本方針

- 産業構造改革、人材育成環境整備、人材育成機会充実を一体的に、産学官連携して、総合的・複合的に実施することが必要-
- ICT産業構造の改革
- 高度ICT人材予備軍(新卒採用段階)の実践的な能力の育成
- 高度ICT人材候補者(社会人)の継続的育成
- グローバル化への対応
- 高度ICT人材育成の取組の横展開の推進(高度ICT人材の量的拡大、地方人材の育成)
- 高度ICT人材育成を一体的、継続的に進めるための推進体制の強化・整備

具体的な高度ICT人材育成策

特に、産学官が一体となって取り組む必要性が高く、喫緊に取り組む必要がある以下のものを、当面、起爆剤として推進

ICT人材の活躍の場(人材育成環境)の整備	ICT人材の育成の場(人材育成機会)の充実	
<p>(ICT企業)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 各企業が自らの問題として、能力に応じた採用・処遇、キャリアパスの明確化・多様化、計画的な人材育成等行う必要 * 人材の流動性を高めるため、産学官が連携して、能力評価手法、資格等の整備を行うべき <p>(ICT利用企業等)</p> <ul style="list-style-type: none"> * ICT企業と同様の取組のほか、特にマネジメント層のICTに対する理解の向上を図るための取組も必要 * 外部のICT人材の積極的活用も重要 	<p>新たな「育成の場」の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> * 実践的な高度ICT人材育成に特化 * 新卒者、社会人、留学生など、世界中から多様かつトップクラスを目指す人材が、互いに学びあえる場(世界レベルの高度ICT人材の育成の場) <p>(教育の内容(例))</p> <ul style="list-style-type: none"> PBL、実プロジェクト、インターンシップ等 社会人ニーズを踏まえた最新技術等の教育学際的な教育 留学、海外インターンシップ等 キャリア教育の充実 <p>(体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 専門職大学院が望ましいが、(一般の)大学院、その他高等教育機関等も考えられる。起爆剤として、当面、先導的組織の少数整備が考えられる 	<p>ICT人材育成の場を支援するための仕組み(ナショナルセンター的機能)の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> * ICT人材の育成の場を社会・経済・産業の環境・ニーズの変化に的確に対応できるよう支援するための仕組み <p>(具体的な機能(例))</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度ICT人材育成関係者が集まり恒常的に議論できる場 実践的ICT教育に関する研究・実証 実践的ICT教育に関するカリキュラム標準の策定 産学間のコーディネーション 教育アセット(教材等)の開発・管理・提供 教員の能力開発等(FD)の研究・実施 海外高度ICT人材育成機関との連携 <p>(体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 行政機関、独法、大学、公益法人、NPO法人等が考えられるが、産学官の連携が最大限効果的に図られるよう、関係者間で更に具体的な検討が行われるべき